

福島第一原子力発電所現地確認報告書

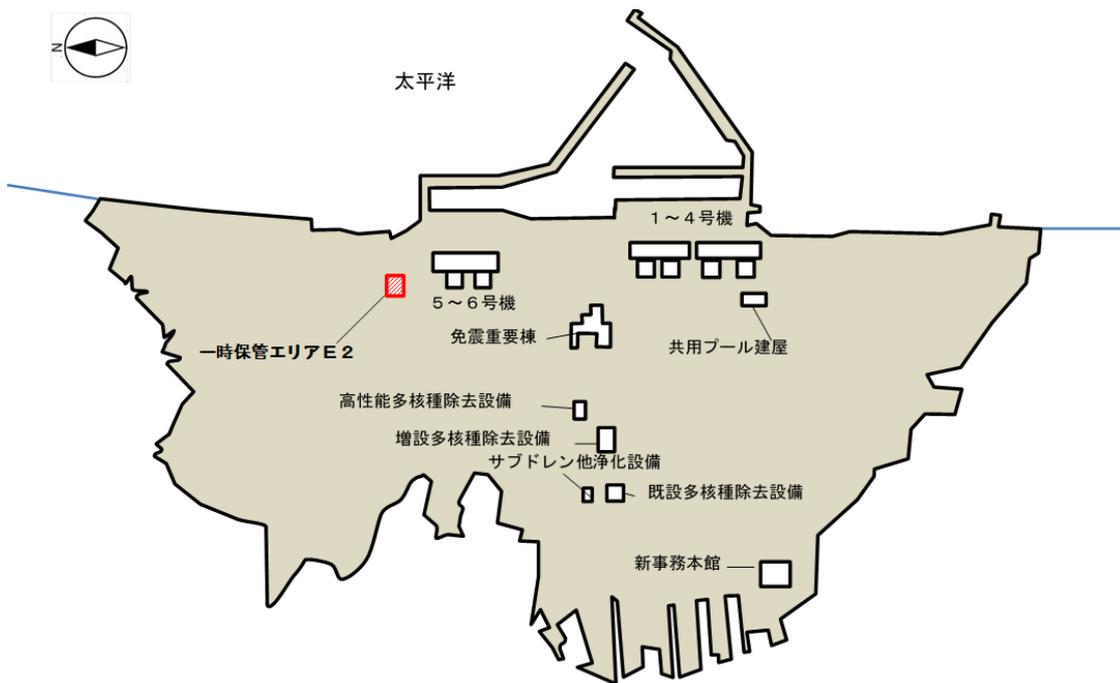
- 1 確認日
令和3年5月13日（木）
- 2 確認箇所
一時保管エリアE2
- 3 確認項目
一時保管エリアE2における廃棄物保管の状況

4 確認結果の概要

令和3年3月に物揚場排水路の簡易放射線検知器において「高警報」が発生した事象について、流域の一時保管エリアW2エリアのコンテナ内容物の漏えいが原因と考えられたことから、東京電力では今後、内容物の把握が困難などとされるコンテナの調査を進めることとしている。前回（令和3年4月22日）の一時保管エリアW1に引き続き、今回、一時保管エリアE2に立ち入り、コンテナ等の外観を確認し、一部のコンテナの表面線量率を測定した。（図1）

なお、東京電力によれば、同エリアには428基のコンテナが保管されており、この中には内容物の把握が困難などとされるコンテナが253基含まれている。（写真1）

- ・エリア出入口には単管パイプのバリケードが設置されており、関係者以外がみだりに立ち入りできない措置が講じられていた。また、エリア出入口には空間線量率の測定結果が掲示されていた。（写真2）
- ・一部のコンテナ表面は腐食が確認されたが、確認した範囲では内容物の飛散や流出は見られなかった。（写真3）
- ・一時保管エリアE2は表面線量率が1mSv/h～30mSv/h以下のコンテナ等を保管するエリアであり、確認した範囲でコンテナの表面線量率は高いものでも1mSv/h程度であった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



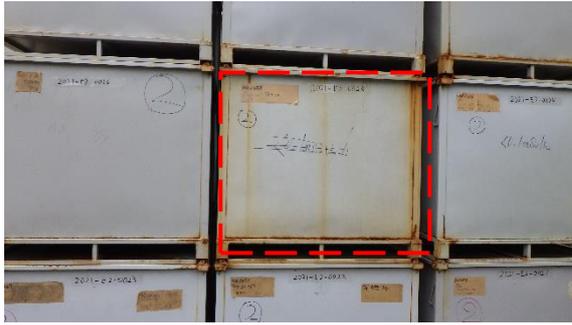
(写真1)
保管されているコンテナの一例
(エリア南東側から撮影)



(写真2-1)
一時保管エリアE2 出入口の状況
(エリア南側から撮影)



(写真2-2)
写真2-1 (空間線量率測定結果) の
拡大



(写真3)
腐食したコンテナの一例
(エリア南側から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。